

カヌー大好きになったよ

豊小・4 鈴木 崇哉

「カヌー教室当たったよ。」

とお母さんの声が聞こえました。

「やったー、楽しみ！」

ぼくは、はしゃいで言いました。

カヌーのことはちよつと知っていたけど、乗るのは初めてだから楽しみだと思いました。日がたつにつれて、知っている子がいたらいいな、新しく友達ができたらいいなと心がわくわくしたり、乗れるかなとどきどきしたりして夜もねむれないくらいでした。

カヌー教室当日、知っている子はいませんでした。ちよつと心細くなつたけど、じゅんぴをしている時近くにいた子が話しかけてくれたので楽しいという気持ちが生まれてきました。

やってみて一番心にのこつたことは、教えてもらったことを自分でやったことです。前に進むには、まずパドルの色のついた部分をうでが直角になるようにして持ちます。つぎに、パドルのざらざらした面を自分に向けて。パドルの先だけ水に入れて前から後ろに動かします。そのこつは、自分の前でバツをえがくようにしてやることです。ほかに後ろへ進むのやターンを教えてもらいました。

いよいよぼくがやる番になりました。

(できるかな)

(ドックドックドック)

自分の体の中から伝わってきます。

きんちようしすぎて教わつたことをわすれるくらいでした。

パドルを水の中に入れました。こぐとぐぐつと思つた上に重たかつたです。だから、手首とうでにいつもよりたくさん力を入れました。

スウー スウー

カヌーは前へ進み始めました。すると、パドルの重たいのがなくなつていきました。

(すごい！)

自分が思っていたより上手にできたからきんちようがほぐれていきました。

二回目の練習のときにだんだんうでがいたくなくなって、上手に動かなくなってきました。カヌーは軽くこげばいいと思つていたけど、強くこがないといけなくて、うでの力が必要だということが分かりました。

練習しているときに田中先生が

「初めてとは思えないくらい上手だね。」

と言ってくれました。ほめられるとは思っていなかったからぼくは、ほめられて笑顔になりました。そして心がはずみました。

最後に右左の列ごとにチームに分かれてカヌーリレーをしました。練習の時みたいにこいだら前に進みました。あわてたら回っちゃうと思つたからなるべく落ち着いてやりました。みんなで協力してやったからとても楽しかつたです。

学校では友達と遊んだり、勉強したりしているのが楽しくてカヌー教室でも学校と同じように他の子といっしょにやるのはとても楽

しいということが分かりました。

「楽しかった！またカヌー教室あるって言ってたから行きたい。」

カヌー教室が終わったらすぐお母さんに言いました。今度はもつと上手にこげるようになりたいなと思いました。